

名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

～試料・情報の提供に関する情報公開について～

当院では、下記の研究または研究に類似する事業の意義に賛同し、当院で保管する試料（凍結血清や病理標本などの保存検体）や診療情報（以下、試料・情報）を提供しております。当院を含め、多くの医療機関が協力し合うことで、研究や事業の質が向上し、今後の医療の発展につながることを期待されます。

対象者に該当する可能性のある方で、試料・情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、外部への提供はしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究や事業の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究や事業の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究または事業、調査等の名称	レセプト等情報を用いた脳卒中救急疫学調査 (脳卒中の医療体制整備のための研究)
研究または事業、調査等の主体(学会名等)	「脳卒中の医療体制整備のための研究」 研究代表者：飯原 弘二 (九州大学大学院医学研究院 脳神経外科教授)
対象となる疾患名等	脳卒中 (2016年4月から2017年3月の間に当院で脳卒中や脳神経外科関連疾患の治療を受けた患者さんを対象とします)
情報の利用目的	脳卒中や脳神経外科関連の疾患で入院された患者さんの臨床データを解析させて頂き、脳卒中をはじめとした脳神経外科医療の見える化に役立てることを目的としています。その他研究事業についての資料の閲覧を希望される方は、研究班ホームページ (https://j-aspect.jp) をご参照ください。
提供するもの	<input type="checkbox"/> 試料(保存検体等) <input checked="" type="checkbox"/> 情報(診療情報等)
提供するもの(詳細)	【共通項目】生年月、性別、自宅郵便番号、発症年月日、入院年月日、入院経(救急車による搬送、他院よりの紹介)、併存症(高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、心房細動)、入院前modified Rankin Scale (mRS) スコア、画像診断、検査の有無(MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査、撮影・検査未実施)、リハビリテーションの有無、退院時mRSスコア、退院年月日、退院先、退院時DPCコード、退院時ICDコード その他、病型ごとの治療方法、使用薬剤等
試料・情報の提供方法	専用のデータ作成ソフトを使用し、インターネット上の専用システムを使用して電子的にデータを提出します。
個人情報の保護	データは、氏名等の個人を直ちに特定できる情報とは切り離して提出します。氏名等の個人を直ちに特定できる情報を外部に提供すること

	はありません。
問い合わせ先 (当院での責任者)	名古屋第二赤十字病院 脳神経外科 高須 俊太郎 電話 052-832-1121 (代表)